

第44回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和7年7月9日（水曜日）16時00分から16時30分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎19階 19E 会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鵜川 正樹 鵜川正樹公認会計士事務所／公認会計士
川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務部長（契約・調達課長事務取扱）
滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
中山 正晃 東京都スポーツ推進本部国際スポーツ事業部事業調整第一課長
三浦 大助 東京都スポーツ推進本部事業調整担当部長
森谷 真咲 公益財団法人日本陸上競技連盟事務局経営企画部管理課長

（2）事務局

東京都スポーツ推進本部

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア 東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場清掃業務委託【資料1】

<説明・確認>

- （ア）大会期間中、国立競技場において、事務室・通路・トイレ等の掃除やごみの回収などの清掃業務を委託する。
- （イ）財団と施設運営事業者の2者による協定において、「大会期間における清掃及び廃棄物処理については、施設の維持管理との共存を図るため、施設運営事業者が施設の維持管理に伴い契約している既存事業者と財団が直接契約することを原則とする」旨が定められているため、当該事業者と特別契約を締結する。

<質疑・意見など>

滝口：清掃の対象期間はあくまで大会期間中で、契約締結からそれまでの期間は事前の準備という認識でよい。

担当者：9月13日から21日の大会期間中が対象である。準備期間については、この契約とは別に、会場使用協定に基づき、既存事業者の方で清掃を行っていただく整理となっている。

イ 東京 2025 世界陸上マラソンコースへの街路灯フラッグ掲出業務委託（靖国通り）

【資料2】

<説明・確認>

- （ア）大会において、マラソンコース上に街路灯フラッグを掲出し、街中を装飾することにより、本大会の気運醸成とともに、世界に誇る江戸文化の魅力を国内外に発信する。
- （イ）主な業務内容は、フラッグ掲出に必要な資料作成・情報提供、掲出に必要な調整・手続きの実施、フラッグの作成及び掲出・撤去、商店街との調整。
- （ウ）靖国通りは靖国通り商店街連合会にて運営されているが、フラッグの掲出業務については、靖国通り商店街連合会が指定代理店を認定しているため、当該指定代理店と特別契約を締結する。

<質疑・意見など>

鵜 川：価格の妥当性について、駅の乗降客数を参考にしているとのことだが、靖国通りはどの駅の乗降客数を参照しているのか。

担当者：神保町、小川町である。

ウ 東京 2025 世界陸上サプライヤー（デジタル屋外広告）スポンサーシップ契約

【資料3】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- （ア）「デジタル屋外広告」カテゴリーにおけるスポンサー公募と業務委託の入札を同時に行い、スポンサーシップ契約の協賛額と業務委託の調達額の差が最小となる事業者を優先交渉者として決定した。
- （イ）「収入案件（スポンサー契約関係）」であるため契約締結前に付議する。

<質疑・意見など>

三 浦：今回、一者入札とのことだが、事業者への周知はどのように行ったのか。

担当者：業界団体のようなものがなく、各社、いろいろな形態でやっているのが実態であり、実績のある事業者に対して個別に声掛けを行った。

鵜 川：優先交渉者となったのはどのような会社か。

担当者：デジタル広告を主に展開する広告会社。代理店業務もやっているが自社で媒体を持っており、今回はそれを活用すると聞いている。

エ クオカードの買入れ（単価契約）【資料4】

<説明・確認>

- (ア) 入札結果が「高落札率」であったため、契約締結前に付議する。
- (イ) 財団において、仕様内容や予定価格設定の妥当性について、改めて問題がなかったことを確認している。また、競争性と公平性が確保され、適正な競争が行われた結果であることを確認している。

<質疑・意見など>

滝 口：案件として価格差が出にくく、高落札になるのは予想できており、やむを得ないもの考える。

(３) 委員長によるまとめ

- ・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(４) 閉会